

ロボットスーツHAL®を使った 神経難病患者さんの入院リハビリテーション

外来
診察時

医師の診察の中でHALの説明と同意後、入院を決定。

対象疾患：脊髄性筋萎縮症、球脊髄性筋萎縮症、筋萎縮性側索硬化症
シャルコー・マリー・トゥース病、遠位型ミオパチー、
封入体筋炎、先天性ミオパチー、筋ジストロフィー
適応：体重40～100kgの患者、身長160～175cm程度、大腿長、
下腿長、腰幅等、身体サイズが合い、歩行が可能な方。
(入院前にフィッティングテストをすることもあります)
目的：歩行機能の改善

入院
初回評価
2日間

体組成、筋力、バランス、歩行能力などを確認します。

～4週間

HALを用いた治療を開始します。

HAL（隔日）：理学療法（PT）

頻度：2～3回/週 合計9回（土日祝は休み）

時間：約1時間（準備、設置等含めて。歩行実時間は20～30分程度）

通常リハビリ

HAL実施日：作業療法（OT）・言語聴覚療法（ST）あわせて1時間程度

HAL非実施日：PT・OT・STあわせて1時間半～2時間程度



最終評価
2日間

体組成、筋力、バランス、歩行能力などを確認します。

退院
入院から
約5週間後

次回の入院についての相談をします。

